

神奈川県作業療法士会ニュース

No. 144

神奈川県作業療法士会ニュース144号 目次

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 巻頭言 | 8 各部からの報告 |
| 2 ここへ行ってきた 職場見学会 日本鋼管病院 | 11 理事会報告 |
| 4 連載 OTのためのIT講座 (第2回) | 12 求人広告・講習会案内 |
| 6 WFOTチリ学会報告 (第1回) | 14 県学会演題募集案内 |

巻頭言

「リハビリでMOTTOつながる心と手 ～人と生活をよくする作業療法～」に向けて

第13回 神奈川県作業療法学会
学会長 浅井憲義 北里大学医療衛生学部



平成23年4月17日(来年の4月17日)に北里大学相模原キャンパスにおいて、第13回神奈川県作業療法学会が開催されます。是非、皆様に参加していただきたいと願っております。

理由は2つあります。県士会員の数は1,500名を超え、量より質の時代となりました。1つには国家資格をもった作業療法士が、県民の健康に寄与する技術・知識・人間性を兼ね備えることを期待される時代に、すでに突入していることを認識する場とすることです。2つ目には、会員の方々の新しい技術や知識を得て、皆様の作業療法実践が効果あるものになる機会を提供することです。

今回のテーマは「リハビリでMOTTOつながる心と手～人と生活をよくする作業療法～」としました。この意味は専門職の自覚をもって、県士会員がお互いに切磋琢磨して、対象者の心身機能から、個人の活動参加、環境因子までを一貫して対応できる作業療法士を目指そうという内容です。

特別講演では、作業療法士が関わる医療から福祉までの領域を、認知症の始まりから介護までを通じて考えます。人の身体や心をよくする医学モデルと豊かな生活を目指す福祉モデルの両輪がそろったときに、適切な作業療法ができることを認識したいと

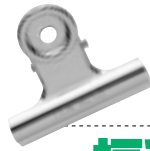
思います。

また機器展示では、上肢用補装具とロボット工学を今一度、作業療法士の視点でとらえられるように企画しています。さらに、就労に向けた視点でも機器展示を考えたいと思います。作業療法における自助具や訓練用具を含めた機器について、本学会のテーマである「人と生活をよくする視点」で語り合ってみたいとも考えております。

もちろん、学会の大切な目的である、会員の学術向上を図り、臨床の知識・技術を吸収できるようにするために、口述発表やポスター発表では多くの方々が、ご参加いただけるよう、できるだけ十分なスペースと会場数を用意しております。また、より多くの方に、日ごろの作業療法実践で培われた技術や考えを、時間をかけて伝え、討論できるワークショップへ、ご参加いただければと考えております。

このように、学会を主催する側としての思いを述べましたが、学会の成功の可否は、多くの会員の皆様にご参加いただけるかにかかっております。我々役員は、1,500名を超える会員の方々と共に、本学会を成功させたいと準備を進めております。

来年の学会に、是非ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。



福利部主催職場見学会 ～日本鋼管病院OT室～

日本鋼管病院

〒210-0852 川崎市川崎区鋼管通1-2-1

TEL 044-333-5591 FAX 044-333-5599

福利部主催第一回職場見学会「突撃！となりのOT室」が5月21日(金)に開催されました。この見学会は、臨床において様々な疑問や悩みを持っているにもかかわらず、相談できる同僚がいない会員向けに福利部が企画したもので、他施設OTの職場環境や治療内容について知っていただくことを目的としています。その記念すべき第一回目は、川崎市の日本鋼管病院でした。今回はこの見学会取材しました。

日本鋼管病院は、神奈川県作業療法士会副会長で、神奈川県士会サイトの「Jブランド」(手づくり自助具のブランド名)でお馴染みのJ先生こと錠内広之先生の職場です(写真1)。OT室内には、手作りの訓練器具や、訓練器具かな？と思われる品々が並んでおり、その数の多さに圧倒されました。(写真2)板で出来たもの、松ぼっくりが付いている物、毛糸のボール、人形などがずらりと並んでいます。奥には、ノコギリやかなづち、ドライバー、ペンチなど、あらゆる工具がきちんと整頓されて揃っていて、まるで下町職人の作業場のような一角もありました(写真3)。



写真1



写真2



写真3

はじめに錠内先生による自助具全般の説明がありました。自助具作成のためのポイントは、自助具の種類と特性及び構成要素の機能を知ることだそうです。自助具には仕事・趣味・ADLで使うものなどたくさんの種類があり、これらを多く知っていれば提供できるサービスが広がります。また、例えばリーチャーの伸縮機能には、ロフトアンテナ式、釣り竿式、蛇腹タイプなど様々あり、固定方法もネジ式、ボタン式などありますが、これらの機能をよく理

解したうえで、使用目的に合わせて構成要素を選択していく必要があります。このように自助具作成にあたっては、その種類と構成要素の機能を知ることがとても重要、とのことでした。

また、OTが自助具の作成依頼を受けるためには、OTの仕事が病院内で「広報」していくことが重要とのことでした。OTができる仕事内容とその有効性を病院内スタッフに理解してもらい、信頼を得る必要があります、これがなければOTに作成依頼はこないとのことでした。

次に、自作の自助具や訓練用具を紹介していただきました。

装具

スプリントの他、オリジナルの革装具などが紹介されました(写真4)。革は、1日～2日で自分の手の形に合ってくる性質があり、スポーツ選手や炎症の方に適するそうです。靭帯損傷の方が親指用革装具を装着してスキーが出来るようになったり、腱鞘炎の母親が家事を行う際、スプリントでは硬くて使いにくかったが、革装具を装着することで作業しやすくなった、という使用例があるそうです。また、新生児内反足の乳幼児に対して歩行できるまで装具を適用した例もあるそうです。



写真4

肩関節運動具

脳卒中の対象者に上肢の分離運動を促すのが目的で作成されています。写真5は、肩の分離運動を促す使い方のデモンストレーションの様子です。肩の骨折に対しては、肘屈曲位でセットし、ゴムや重りで抵抗をつけて肩内外旋の動きを促すような使用方法もあるそうです。



写真5

メディスンボール

治療に使われるボールで、重さ、大きさが異なるものがたくさん用意されていました。全て手作りで、紐を延々と巻いて作成されています。患者様も手まりの様な感覚で使用しているそうです。

風船バレー

天井のレールに取り付けてある風船は、直径1m以上もある大きなものでした。これは、東京江戸川区の特定の店でしか販売されておらず、1個340円程度とのことでした。風船バレーは、特に廃用症候群の患者様のアクティビティーとして利用されているそうです。

リストラウンダー

これは「Jブランド」の代表作です。(写真6) ゴルフボールを材料に使用したことで、同様の他の自助具よりも広い角度をカバーすることができます。けん玉やボールで作成したものもあるそうですが、これらは角度が制限されるため、ゴルフボールが最適だそうです。ダーツスローの際の手関節の角度も再現可能とのことでした。



写真6

握力改善器具

写真7は様々な握力に対応した竹ばさみです。OT室に来る患者様で、理解力やモチベーションが低い方がおられても、この器具は使用できるそうです。また、失語症の方にもジェスチャーで伝わる程の簡易さで使用可能とのことでした。



写真7

ペグ

さまざまな大きさのペグボードには、南海ホークス、ベイスターズ、広島カープなど、(少し昔の)プロ野球球団の名前とチームカラーがついています。これは、患者様にペグの種類を分かりやすく示すことと、馴染みのある名前が付いた訓練器具に愛着を持ってもらうことが目的とのことでした。

人形

新聞紙を材料に成形し、ニスを塗って仕上げた人形達です。(写真8) 山根先生、杉原先生、中村先生など、著名な作業療法士をモデルにした人形もありました。タイマー付きの人形に錠内先生の顔が付いているという不思議なものもありました。

参加者からの質問で、「紹介していただいた自助具は、錠内先生がOTになった当初から作っていたのか?」という問いに対して錠内先生は、「入社当初は上司が自助具等を作成しているという環境で、自分でも作り始めたが、やってみると面白くなり色々とアイデアが浮かぶようになった」と答えていました。



写真8

自助具に使用する材料は、竹やベニヤ板、いらなくなった松葉杖、パイプ、椅子など病院の廃材も多いそうです。ネジやクギは廃材から外して分類・保管しており、購入したことはないそうで、これには驚かされました。お正月過ぎに不要になった門松から竹の材料を切りだしたり、段ボールの型抜きに使用したベニヤ板を工場からもらったりもしているそうです。現在は、革製品を製造している某会社の廃材を革スプリントの材料として使えないか検討しているとのことでした。このように廃材のリサイクル上手く利用されており、先生はエコロジーの流行の先取りをされていたのだと思いました。普段から色々な仕事に興味を持ち、材料のお宝が埋もれていないか目を光らせているようです。

見学会では、他にも様々な自助具や訓練器具も紹介していただきました。そのどれもが手作りであり、患者様自身が手作りした作品にはその方のお名前が記されていました。患者様のニ



写真9

ーズに添いつつ、楽しみながら能力を発揮しやすくなりたい、という思いがひしひしと伝わってくるものでした。先生は「病棟スタッフにOTの仕事を理解してもらい、信頼を得ることが必要」とおっしゃっていました。OTとしてよい仕事をするためには、他のスタッフにOTをもっと知ってもらうことが重要であり、そのためにはOT自身が普段から様々なことに興味を持ち、知識を蓄え、それらをタイミング良く提供できる能力が必要であると感じました。

記者である私は普段、地域の精神障害者の就労分野の一人職場で働いていますが、この職場見学会は、その後の飲み会(写真9)を含め、大変刺激になりました。福利部の皆様、素敵な企画をありがとうございました。

取材にご協力いただいた錠内先生、日本鋼管病院の皆様、ありがとうございました。今年度はあと2回職場見学会が企画されているそうです。皆さんも是非ご参加ください。(文責:馬場)



OTのためのIT講座

第2回 Googleを使いこなしてみよう！



講師
石川 敢也さん



松本 こんにちは！連載2回目もよろしくお願いま～す。この前お会いしたのは編集委員の中村さんの結婚式の2次会でしたよね？



石川 はい、「Go!夫婦」の日、5月22日ですね…この語呂あわせを教えられて、自分の結婚記念日は忘れても、中村さんの記念日は忘れられないですね。(笑)



松本 その翌日にはパーティの写真が載ったインターネットのアドレスがメールで届いて、びっくりしましたよ！



石川 あれはグーグルの「Picasa ウェブアルバム」というサービスを使ったんです。



松本 インターネットに繋がる環境があればどこでも楽しめるし、便利ですね。お祝いに行けなかった職場の仲間たちにもスライドショーで見せたりして、とても喜ばれました。



石川 それに、我が家ではデジタルフォトフレームを使っていて、よほど特別な写真以外はプリントしないようにしてるんですよ。だから、プリントした「紙の写真」をもらうより、「画像データ」でもらった方が使いやすいんです。



松本 そうなんですか。デジタルフォトフレーム、電気屋さんで見て私も気になってました。じゃあ、石川家ではプリントした写真は無いってことですか？



石川 今までの写真も捨ててはいないので探せば出てくるとは思いますけど、「紙の写真」は、家族で映っている結婚式の写真とグアムの海で熱帯魚と映っている写真だけです。その代わり、デジタルフォトフレームには300枚くらい入っています。



松本 便利なのは分かるんですけどね、インターネットに写真を載せちゃって、知らない人にも勝手に見られちゃうんじゃないかと、ちょっと心配です。



石川 グーグルの「Picasa ウェブアルバム」でいえば、非公開・限定公開・一般公開の3つの公開レベルが選べるんです。中村さんのパーティの写真は、メールでお伝えしたような、あの長くて複雑なアドレスを知っている人だけがアクセスできる「限定公開」なので、知らない人にこっそり見られてしまう心配はありません。



松本 そうでしたか、安心しました。無料だし、私も使ってみたいです。それにペーパーレスで、エコにも貢献できるってわけですね！



石川 そうとも言えますけど、データを放り込んで、あとは1回見て終わってもいいですし、自分のパソコンに保存するなりプリントするなり各自で勝手にどうぞ…という方法なので、ズボラな人に最適とも言えますね。(笑)



今日のアドバイス

* Picasa ウェブアルバムを使ってみよう！

1. Picasaを使うには、<http://picasa.google.com/>にアクセスします。「picasa」というキーワードで検索してもすぐに見つかります。
2. 「Picasa ウェブアルバムを使用」をクリックして始めます。GoogleのIDを持っていない場合は「アカウントの作成」の画面に進みます。
3. Picasa ウェブアルバムには1GBまでの写真を無料で保存できます。
4. インターネット上で「アルバム」という単位で写真を整理でき、アルバムはいくつでも作成できます。一般、限定、非公開の公開レベルをアルバムごとに設定できます。新規作成のときには一般公開に設定されているので、不特定多数の人に見られたくない場合は公開レベルを変更しておきましょう。



* インターネットを使いこなすこと＝Googleを使いこなすこと

Google（グーグル）は、Yahoo!（ヤフー）、マイクロソフトの「MSN Windows Live」などと共に、インターネットでさまざまなサービスを提供しているポータルサイトです。

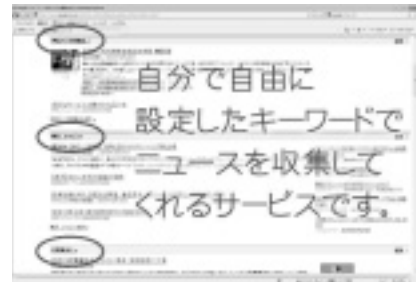
写真のアルバムを共有できる「Picasa ウェブアルバム」の他にも、グループでカレンダーを共有できる「Google カレンダー」、エクセルやパワーポイントのような文書を共有できる「Google ドキュメント」など、さまざまなサービスがあります。

* 最新型じゃない携帯電話も多機能ケータイに！

Googleはグループワークだけでなく、無料メール「Gmail」、地図の「Google MAP」、自分のブログが始められる「Blogger」などの個人向けのサービスも充実しています。そして、それらのサービスの多くがパソコンだけでなく、携帯電話にも対応していますので、インターネットに繋がる携帯電話さえあれば誰でも利用できます。

* Googleで自分だけの業界新聞を作ってみよう！

Googleニュース（<http://news.google.co.jp/>）で、一般のニュースを新聞代わりにチェックするだけでなく、自分で設定したキーワード（例えば「作業療法士」とか「神奈川県 リハビリ」など）で、ニュースを自動的に集めてくれるクリッピングサービスとして使うこともできます。



また、「Google 翻訳」のページをブックマークしておいたり、Web検索にワンタッチでアクセスできるように設定しておいたりして、携帯電話を持ち運べる辞書として使うのも便利だと思います。

Googleを単なる検索サイトだと思っている人や、「Yahoo!は使ってるけどGoogleは難しそう…」と思っている人も、ぜひこの機会に試してみたいはかがでしょうか。

質問を募集しています! ??????????????????????

「OTのためのIT講座」で取り上げてほしい質問を募集しています。

下記のURLから投稿してください。

● 「OTのためのIT講座」質問箱 <http://post.afinax.com/>

記事の感想や要望などもお気軽にお送り下されれば幸いです。



イラスト・松本

各部からの報告

教育部

○連載!

県士会ウェブサイトから質問ができます!

「お届け!生涯教育制度、あれもこれも」

夏ですね～!暑い夏を熱く過ごしてくださいね。

教育部では夏が終る頃から研修会や催しが始まります。今回はそのご案内をお届けします。今年度の現職者共通研修、現職者選択研修の日程が決まりましたので、ご確認の上ご調整ください。詳細は、本号同封のチラシ、今後の県士会ニュース、県士会ウェブサイトをご覧ください。

1. 現職者共通研修 (1テーマ1,000円)

★9月11日(土) _____

横浜リハビリテーション専門学校

10:30~12:00

「作業療法生涯教育概論」

13:00~14:30

「保健・医療・福祉と地域支援」

14:45~16:15

「作業療法の可能性」

★終了後、「県士会オリエンテーション&歓迎会」(無料)が開催されます。お誘い合わせの上ご参加ください。隣にご案内があります。

★9月12日(日) _____

横浜リハビリテーション専門学校

10:30~12:00

「事例検討方法論」

13:00~14:30

「作業療法における協業・後輩育成」

14:45~16:15

「日本と世界の作業療法の動向」

★11月3日(祝・水) _____

ウイリング横浜

13:00~14:30

「職業倫理」

14:45~16:15

「エビデンスと作業療法実践」

★2011年3月6日(日) _____

ウイリング横浜

「事例検討」、「事例報告」

2. 現職者選択研修 (各90分×4コマ 1コマ1,000円) *詳細は今後ご案内予定です。

★老年期障害領域; 2011年1月23日(日) _____

9:00~17:00 ウイリング横浜

★身体障害領域; 2011年2月26日(土) _____

9:00~17:00 ウイリング横浜

問合せ先: 教育部 奥原孝幸

(昭和大学保健医療学部)

045-985-6500(代)、kyoiku@kana-ot.com

福利部

○「新入会員オリエンテーション&歓迎会」のお知らせ

福利部では、毎年新入会員のみなさんを対象にした企画として、新入会員オリエンテーション&歓迎会を行っています。これは新入会員の方に神奈川県士会についてのオリエンテーションを行い、歓迎会では新入会員同士や理事との交流を図ったりする(理事の先生方が一度に集まる機会はなかなかありません!)など参加者が楽しめる内容になっています。去年は錠内副会長とのじゃんけん大会を行い、豪華(?)賞品もありましたので今年も何かあるかもしれません。また、終了後に懇親会も行う予定ですので、熱く語り合いたい新入会員の参加を待っています。

今年は9月の現職者研修の開催時期にあわせて行うので、新入会員同士の交流を深めたい方、県士会に興味がある方はぜひ参加してみてください!

チラシやウェブサイトにもお知らせをしておくのでそちらもご参照下さい。

日時: 平成22年9月11日(土)

16:30~18:00 (現職者研修終了後)

※終了後懇親会開催予定

場所: 横浜リハビリテーション専門学校

(文責: 福利部富山)



ウェブサイト管理委員会

○県士会サイトではOTアイデアを公募します

自分が温めている臨床での作業療法アイデアを、皆で共有してみませんか？県士会サイトでは、そんな有意義であろうアイデアを募集します。

例えば、ちょっとアイデアで作成したオリジナルの自助具や訓練器具が目の前の一人の対象者の方に有効であった場合、このアイデアをウェブに掲載することで、日本全国で何人の方がHappyになることでしょうか。ちょっと工夫したレクなども同様。日本全国でいくつの施設で笑顔が増えることでしょうか。

応募方法などの詳細は県士会サイトをご覧ください。学術的に発表するほどではないけれど、もしかすると役に立つかも、というアイデアをお持ちの作業療法士の皆さん、まずはウェブサイト管理委員会にご連絡下さい。お待ちしております！

(文責：ウェブサイト管理委員会 作田)

県士会サイトURL : <http://kana-ot.com/>

ウェブ管Twitter : <http://twitter.com/kaotwebkan/>

平成22年5月アクセスランキング

- 1位 再学習・筋触診：記事ページ 7086件
- 2位 講習会・研修会 5520件
- 3位 求人情報掲載板 3167件
- 4位 作業療法Tips：記事ページ 1841件
- 5位 作業療法Tips：分類ページ 1598件

平成22年5月県士会プログラムランキング

- 1位 ウェブ管的知恵袋 297件
- 2位 大学院生兼主婦兼OTRの日記 190件
- 3位 ひよっこOT日記 182件

更新件数：39件 訪問者延べ数：9755人

Kanaからの手紙発行回数：5回

5月末のトップページカウンタ数：498777

地域リハビリテーション部

○地域リハビリテーション部の目指すのは…

地域リハビリテーション部が目指すのは「神奈

川県内における在宅・施設で活躍する作業療法士に知識・技術の提供をおこなうと共に、それぞれの連携を促しネットワークの構築に寄与する。」
「会員だけではなく関係諸機関や障害者など県民とのネットワークづくりにも努め、地域リハビリテーションがより円滑に実践されること」です。

上記を達成するために、今年度から「地域リハ研修班」と「地域リハ推進班」の2班体制で活動を開始しております。

「地域リハ研修班」は、地域リハビリテーションの従事者に対して知識・技術を提供するため研修会・講習会を開催いたします。また参加者間の交流により、ネットワークを拡充していきます。

「地域リハ推進班」は、関係職種・機関・組織との連携や神奈川県民との連携により地域リハビリテーションの普及・推進を図ります。

今年度予定している研修会は下記の通りです。研修会の詳細や各班の活動に関しては適宜県士会ニュースおよびウェブサイトにてご案内いたします。

【研修会開催予定】

①「第6回地域リハビリテーション勉強会」

日時・場所：未定

②「第18回PTOT地域ケアネットワーク合同研究会」

日時：平成23年2月頃予定

場所：未定

③「第1回PTOT訪問リハビリテーション合同研修会」

日時・場所：未定

(文責：地域リハビリテーション部 木村)

パイロット事業のお知らせ

去る7月17日(土)に第1回ALS者のコミュニケーション支援講習会が開催されました。開催状況については次回145号県士会ニュースに掲載予定です。

第2回、第3回の講習会はまだ申し込みを受付けておりますので、みなさまからの応募をお待ちしております。

第2回 平成22年8月21日(土) 14:00～16:30

於：あーすぶらざ (本郷台)

第3回 平成22年9月4日(土) 14:00～16:30

於：あじさい会館 (相模原)

社会保障制度対策委員会

こんにちは社会保障制度対策委員会です。
今回から「社会保障制度対策委員会のお知らせ広場」を開き、タイムリーな情報をお知らせしたり、複雑な社会保障制度（医療保険、介護保険、自立支援法）などについての質問にお答えしていきます。新人の方、ベテランの方を問わずご質問・ご意見を何なりとお寄せください。ご意見・ご質問は社会保障制度対策委員会のホームページ

<http://kana-ot.com/cgi-bin/blog10/index.cgi> の質問の投稿のコーナーから投稿してください。お待ちしております。

Q 平成22年度において精神障がい領域での診療報酬の変更はありましたか？

A 精神科デイ・ケア、精神科デイ・ナイト・ケア、重度認知症患者デイ・ケアの点数が変更し

ました。点数の変更は以下のとおりです。

精神科デイ・ケア

小規模なもの1日につき550点→590点

大規模なもの1日につき660点→700点

精神科デイ・ナイト・ケア1日につき

1000点→1040点

重度認知症患者デイ・ケア料1日につき

1000点→1040点

一方でこれまでであった食事提供加算49点は廃止されました。昼食や夕食の食事提供は診療報酬で対応できなくなったので各施設は費用を持ち出すなどやりくりしているのが現状です。

また、精神障がいの者の地域移行を推進するため、早期の地域移行を促す加算が新設されました。いずれも算定開始日から1年以内に行われる場合、上記の点数からさらに50点が加算されることになりました。

以上

(文責 社会保障制度対策委員会 山路)

第13回神奈川県作業療法学会 協賛金・プログラム集広告募集のご案内

学会長 浅井 憲義

本学会開催にあたり協賛協力依頼ならびに学会プログラム集広告掲載の募集をいたします。以下の各募集要項をご確認いただき、会員個人ならびに会員施設でのご検討をお願いいたします。

【協賛金募集要領】

1. 協賛金の名称

第13回 神奈川県作業療法学会 協賛金

2. 募集期間

2010年8月2日(月)～2010年12月24日(金)まで

3. 協賛金を必要とする理由

本学会の参加予定者は500名を予定しております。来場者は神奈川県内(県外も含む)の有資格者および学生です。時節柄、開催経費の減少に鋭意努力しているところでございますが、参加費等ですべての経費をまかなうことが困難と予想されます。

つきましては、本学会の開催趣旨をご理解いただきまして、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

4. 協賛金の使途

第13回 神奈川県作業療法学会の準備、運営のための諸費用

5. 金額

一口：¥5,000円(何口でも結構です)

6. 特典

1) 第13回神奈川県作業療法学会プログラム集および、学会ホームページに協賛者名を掲載させていただきます。プログラム集の協賛者名掲載につきましては、印刷の都合上2010年12月24日(金)までのお申し込み分までとさせていただきます。

2) ご希望により、学会ホームページに協賛者のホームページをリンク致します。尚、ホームページへのリンク期間は、お申し込み手続き完了後から学会終了後までとさせていただきます。

【プログラム集広告募集要項】

1. 発行概要

●名称：第13回 神奈川県作業療法学会プログラム集

●発行部数：2,000部(予定)

●配布対象：神奈川県士会員 1,500名に事前に郵送および当日会場で配布

●規格：A4判 60頁(予定)

●発行日：2011年 2月末(予定)

2. 応募締め切り

●広告申し込み期間：

2010年8月2日(月)～2010年12月24日(金)まで

3. 広告掲載料

●表2：表裏表紙 1本 22,000円

●表3：裏表表紙 1本 22,000円

●表4：裏裏表紙 1本 22,000円

●1頁広告： 20,000円

●1/2頁広告： 10,000円

●1/4頁広告： 5,000円

*同じ広告枠に複数の企業及び施設の希望がございましたら、申し込み順とさせていただきます。

掲載順番等については、ご一任願います。

*協賛金・プログラム集広告募集 申し込みなどの詳細は、下記にお問い合わせください

●第13回 神奈川県作業療法学会事務局 渉外担当

TEL：042-778-9694 (北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法学専攻)

E-mail：kanaot13thcong@yahoo.co.jp

●第13回 神奈川県作業療法学会HP
<http://www.geocities.jp/kanagawakenot/>

理事会 報告

平成22年度 第1回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成22年5月20日（木曜日）19：00～21：00 場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、佐藤、錠内、浅井、奥原、木村、作田、鈴木、机、富山、中西、野々垣、原、山路、澤口

委任理事：野本 出席監事：長谷川 委任監事：清宮 出席事務局員（書記）：名古屋、中尾 その他：松本（広報部）

<各部からの報告・検討事項>

●事務局（澤口事務局長）

- 第2回定期総会報告（4/18）
 - 場所：神奈川県総合医療会館7階講堂
 - 正会員数1,467名のうち出席99名・委任状492名で議決権の総数591名；正会員の3分の1以上となり総会成立
 - 第1号議案～第4号議案はすべて承認
- 総会時の特別講演報告
 - ①藤原茂先生（夢のみずうみ村代表）「チャレンジ！作業療法の可能性」②中村春基先生（日本作業療法士協会会長）「作業療法5カ年計画」出席者数：115名
- 他団体からの要請（後援依頼等）
 - 第20回日本臨床工学会（5/22・23：パシフィコ横浜）「テーマ：臨床工学技士の存在意義を考える」後援依頼⇒三役会にて承認
 - 第29回県病院学会第1回学術委員会（6/2）「内容：学会開催日・学会テーマ等」出席依頼⇒中西理事
 - 県立鶴見看護学校研究研修班より講師派遣依頼⇒長谷川監事
日時：8/5 内容：児童生徒の支援に際しての作業療法的視点の重要性について（仮称） 対象：教員
- OT協会都道府県連絡協議会総会出席（6/10：仙台）澤口
- 渉外活動
 - 第76回県病院協会総会後の懇親会（6/16）⇒渡邊会長
 - 医療専門職連合会総会（6/18）⇒県OT士会は総会議長後日、事務局長より参加者を個別に決める
- 部員承認：金山桂（横浜YMCA学院専門学校）⇒承認
- その他：会員異動届の創設⇒実施の方向。

●財務部（野々垣理事）

- 会費納入について
 - 現在15%程入金。7月末日（～8月中旬頃）までに納入未確定の者には8月中に再度振込票の発送を行う予定。
- 情報公開について
 - 総会で予算・決算の承認を得たので、情報公開を行う。
 - 5月号の県士会ニュースに平成21年度財産目録、決算、監査報告、平成22年度予算を同封（手配済み）
 - 定款に基づき、貸借対照表、損益計算書（平成22年3月31日付）をHPに掲載依頼済み。

●福利部（富山理事）

- 「第2回職場見学会」（重度認知症デイケア）
 - 場所：汐田ヘルスクリニック 講師：三森夏穂先生 定員：15名
 - 内容：通所リハ、重度認知症デイケアの見学、認知症の方へのアクティビティ・質問・悩み相談コーナー 参加費：無料
- 新入会員オリエンテーション&歓迎会
 - 日時：9/11（土）＜現職者研修終了後 約1時間程度＞
 - 内容：新入会員のための役員・県士会紹介・交流会等
 - 場所：横浜リハビリテーション専門学校

●社会保障制度対策委員会（山路理事）

- 会員からの問い合わせに対応
 - 精神科デイケアの食事提供の件について 3件（内他県2件）
 - 精神科デイケアと精神科作業療法について 1件
⇒内容についてシェアできる箇所はHPやニュースで伝えていく。
- 他機関との連携
 - 厚生省関東信越厚生局神奈川支所と診療報酬についての情報提供を受けると共に今後の指導をお願いする。
- e-learningについて
 - 作業療法士が知っておきたい社会保障制度シリーズを2回分掲載。順次増やしていく（6回/年）

●地域リハビリテーション部（木村理事）

- 「ALS者のコミュニケーション支援講習会」（OT協会H22パイロット事業受託）

・共催：日本ALS協会神奈川県支部

- 日時：①7/17（土）国際医療福祉大学小田原校、②8/21（土）あーすぶらざ（本郷台）、③9/4（土）あじさい会館（相模原）
- 対象：医療・福祉関係者・当事者・ご家族
- 内容：支援方法の紹介、コミュニケーション機器及びスイッチ体験
※車椅子でのご来場が可能
- 2）OTPT合同訪問リハビリテーション研修会（仮）
- 引き続きPT士会との調整中
- 3）痰吸引の研修会について（医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について厚生労働省より通達があったもの）
・県士会で実施するか等、他県士会の情報収集を行い検討する。
- 4）部員承認：末吉 藍（新戸塚病院）、酒井広樹（ライフプラザ新緑）、山道三奈子（ライフプラザ新緑）⇒すべて承認

●学会評議員会（原理事）

- 「第13回神奈川県作業療法学会」の詳細決まる。
- 日時：平成23年4月17日（日）会場：北里大学相模原キャンパス
- テーマ：「リハビリでMOTTOつながる心と手～人と生活をよくする作業療法」
- プログラム：教育講演、一般演題（口述発表・ポスター）、機器展示、地域作業所の紹介・展示、その他 ※総会も同日開催

●教育部（奥原理事）

- 現職者共通研修（場所：第1回以外はウィリング横浜を予定）
 - 第1回：9/11（土）/12日＜6テーマ＞第2回：11/3（水祝）＜2テーマ＞
 - 第3回：H23/3/6（日）＜2テーマ；事例報告・事例検討＞
 - ※第1回終了後福利部主催新入会員オリ（横浜リハビリテーション専門学校）
- 現職者選択研修（身障、老年期）＊詳細は未定
 - H23/1/23（日）・H23/2/26（土）
- 事例報告登録制度研修会 ＊詳細は未定
OT協会学術部と合同開催
- 部員承認：真崎有希（横浜リハビリテーション専門学校）⇒承認
- SIG団体登録申請
 - 神奈川県作業療法臨床研究会横浜⇒承認

●広報部（松本代読）

- カモメマークを県士会ロゴマークとして正式に決定し、グッズ等に活用。
- 対外広報：県内の高校生に啓発活動を実施予定。今までのOT体験デイ的なイベントを来年3月頃実施予定。関連職種への啓発として他学会へブース出展できるか検討。
- OT推進の日：9/25前後にOT協会が横浜でイベント、援助する。
- 部員承認：藤崎良典（横浜相原病院）、赤塩知紗都（横浜相原病院）、堤由貴子（北品川病院）⇒すべて承認

●学術部（中西理事）

- 生涯教育講座【実習指導者養成講座】日程（Web参照）
- 分野別講習会【精神】日程（Web参照）
- 研究助成事業：公募5/1～7/31（Web、ニュース参照）
- 学術誌論文査読委員⇒13名承認
東登志夫、友利幸之助、有川真弓（神奈川県立保健福祉大学）、埜崎都代子（昭和大学）、渡邊誠（北里大学）、森田千晶、三浦慈子（国際医療福祉大学小田原校）、坂本俊夫（横浜YMCA学院専門学校）、三川年正（横浜リハビリテーション専門学校）、神保洋平（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）、中西浩司（北里大学東病院）、坂本安令（横浜市立大学附属病院）、松本政悦（横浜市総合リハビリテーションセンター）

●ウェブサイト管理委員会（作田理事）

- 部員承認：大澤彩（昭和大学）、平澤友代（新戸塚病院）⇒承認
※紙面の都合で割愛、議事録の詳細は県士会Webをご覧ください。



求人

作業療法士募集

募集人数 若干名
 待遇 当院規定により優遇します
 勤務時間 8:30~17:30 (月~金)
 8:30~12:30 (土)
 休日休暇 4週8休 (日曜・その他含む)
 祝日、年末年始、開院記念日、
 年次有給休暇、慶弔休暇等
 応募方法 電話連絡の上履歴書・資格証明書の写しを
 下記宛に郵送してください。
 交通 小田急線・相鉄線・JR相模線
 海老名駅 徒歩10分

社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス
 海老名メディカルサポートセンター
 〒243-0433 神奈川県海老名市河原口1519
 本部 人事総務チーム 担当 須賀
 電話 0120-54-131
 URL <http://www.jinai.jp/>



求人

作業療法士 募集

募集人員：若干名
 就労期間：即日～平成23年 3月31日
 応募資格：作業療法士免許を有する方
 ＊有経験者を希望
 待遇：非常勤職員としての雇用です
 給与：本市規定による 1864円/時給
 手当：交通費相当分支給
 勤務時間：8:時30分～17時15分
 ＊ 頻度・時間等は相談に応じます
 休日：4週8休制 (土曜・日曜勤務有り)
 応募方法：電話連絡の上、面接をいたします。
 履歴書・免許証の写しをご持参ください。
 ＊ まずはお気軽にお問い合わせ下さい

問合せ先：横浜市立脳血管医療センター
 〒235-0012 横浜市磯子区滝頭1-2-1
 TEL 045-753-2791 (直通) FAX 045-753-2905
 リハビリテーション部 遠藤まで
 Eメール：by-ysbckanrika@city.yokohama.jp
<http://www.city.yokohama.jp/me/byouin/nou/>



研修会

発達障害分野講習会 『聞こえない声を聴く』

～重症心身障害児とのコミュニケーション～

講師：黒澤淳二先生 (大阪発達総合療育センター)
 重度心身障害児のコミュニケーション機能を育むことは、
 療育の大きな目標です。しかし、反応に乏しい重心児と豊
 かにコミュニケーションすることは容易ではありません。
 講師はOTの立場から多くの重心児と関わり、彼らとの豊
 かなコミュニケーションの実践について文献等で発表され
 ています。重心児に関わる多くのスタッフにとって、有益な
 情報やヒントを提供していただく予定です。
 日程：2010年11月13日(土)・14日(日)
 定員：40名 (先着順・定員になりしだい締切)
 会場：横浜市総合リハビリテーションセンター
 対象：職種を問わず参加可能
 参加費：1日4,000円 2日8,000円 (懇親会4,000円)
 申し込み方法：下記内容を明記して以下のアドレス
 へ、「黒澤先生講習会参加希望」と明記しお申し込み
 下さい。

①氏名・②職種・③所属名・④参加日(1日目のみ、
 2日目のみ、両日のいずれか)・⑤懇親会参加の有無
申し込み・お問い合わせ先：
 メールアドレス matsumoto.m@yokohama-rf.jp
 横浜市総合リハビリテーションセンター 松本政悦



研修会

第33回日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG講習会 in 京都

日程：2011年2月5日(土)～6日(日)
 主催：日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG
 共催：一般社団法人日本車いすシーティング協会
 会場：京都リサーチパーク
 〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93
<http://www.krp.co.jp/>
 定員：150名 (先着順)
 参加費：12,000円・14,000円・16,000円・20,000円
 (加盟団体等により異なります)
 内容：詳細は11月中旬頃HPに掲載予定です
 1日目：「車いすの基礎」
 ①生活と車いす
 ②身体寸法計測と車いす寸法
 ③車いす基本機能と構造との関係
 ④車いすクッションの基礎と選択
 ⑤電動車いすの種類と活用のすすめ
 2日目：「車いす適合の考え方と工夫」
 ① 高齢者・片まひ者の車いす適合の考え方と工夫
 ② アクティブ・バランス・シーティングの考え方
 ＊ 社団法人日本作業療法士協会「生涯教育制度」基礎
 ポイント対象研修会(予定)
 申込締切：2010年12月24日(金)

車いすSIG講習会事務局

横浜市総合リハビリテーションセンター
 地域リハビリテーション部研究開発課内 担当 深野栄子
 TEL.045-473-0666 FAX.045-473-0836
<http://www.wheelchair-sig.jp/>



研修会

研修会のお知らせ 「リハビリテーションに活かす 古武術講座」

開催日時 2010年11月3日(水)
開催地 未定(都内スポーツセンター、区民館)
(申込者には詳細が決まり次第お知らせします)
主催団体名 江東友の会
内容: 近年、古武術を介護分野に応用した「古武術介護」が注目されています。
本講習会では古武術の術理を介護に留まらず、リハビリテーションにも応用していくことを目指します。実技主体となりますので動きやすい服装でお越しください。
講師 斎藤豊(江東友の会代表)
参加定員 30名
参加費金額 5,000円(当日払い)
参加申し込み方法 メールにて suchan4wd6@yahoo.co.jp
氏名 所属 E-mail 職種 経験
年数を明記の上お申し込みください
担当者 作業療法士 鈴木寛道



研修会

POTA全国研修会 in 神奈川 『精神科作業療法の可能性』

開催日時: 平成22年9月4日(土)～5日(日)

場 所: ウイリング横浜(上大岡)

プログラム

9月4日(土)

10:15～11:15 基調講演
「精神保健福祉の現状と今後の方向性」
～精神科病院を中心に～
国立精神・神経センター精神保健研究所 伊藤弘人先生
11:30～12:00 当事者発表
13:00～14:00 実践報告
病院の置かれた環境や特異別の実践
神奈川県秦野市内3病院からの報告
14:10～16:15 分科会
16:30～17:00 特定非営利法人POTA総会
18:00～ 懇親会

9月5日(日)

9:30～10:30 デモンストレーション
「ソリューションフォウエルネス」
藤沢病院 石井千恵先生
10:30～11:30 特別講演
「わが家の義母はビョーキです」 中村タキ 様
*コミック「わが家の義母はビョーキです」の著者中村ユキ様のご主人



研修会

第20回日本保健科学学会学術集会

開催日・平成22年10月9日(土) 9:30～17:30

テーマ 「パーキンソン病」

プログラム

9:30～ シンポジウム
13:00～ 特別講演
講師: 村松慎一
(自治医科大学特命教授)

14:00～ 一般演題発表

会場 首都大学東京 健康福祉学部
〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10

参加費

参加費3,000円 非会員4,000円 学生無料

演題応募・募集期間

平成22年7月1日(木)～平成22年7月31日(金)

演題登録および抄録原稿の応募は以下のURLより

日本保健科学学会

URL: <http://www.health-sciences.jp/>

学会集会に関するお問い合わせ先

th20nhs@hs.tmu.ac.jp



研修会

シンポジウム 『中枢神経疾患へのリハアプローチの再構築 ～セラピストは何にアプローチすればよいのか?～』

開催日時: 平成22年11月7日(日) 10:00～16:30

場 所: 東京ビッグサイト会議棟7F 国際会議場

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1 東京ビッグサイト

参加費: 4,000円(当日会場にてお支払いください)

シンポジウム講師および講演内容

シンポジウム趣旨説明 合同会社gene代表 張本浩平

『ボバースコンコンセプトとは?』

伊藤克浩先生(山梨リハビリテーション病院)

『認知神経科学とリハビリテーション』

森岡周先生(畿央大学健康科学部理学療法学科)

『CIセラピーとは?～適応とその治療効果～』

佐野恭子先生(兵庫医療大学リハビリテーション学部)

パネルディスカッション

『中枢神経疾患に対するアプローチの共通点』

司会: 高倉保幸先生(埼玉医科大学保健医療学部)

パネリスト: 伊藤克浩先生・森岡周先生・佐野恭子先生

お申し込み方法 下記HPからお申し込み下さい

問い合わせ先: 合同会社gene 担当: 張本

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田二丁目6番18号

グ
ラシア3号館1階

TEL 052-242-2800 FAX 052-242-2811

E-mail hari@gene-llc.jp HP: www.gene-llc.jp

第13回神奈川県作業療法学会 演題募集のご案内

学会長 浅井 憲義

第13回神奈川県作業療法学会開催に当たり、「リハビリでMOTTOつながる心と手～人と生活をよくする作業療法～」というテーマによって、「OT」「つながり」「心」「手」というキーワードから、人と生活をとらえた作業療法の実現への願いを表現しました。皆様の業務や研究の報告をいただき、作業療法の発展のために相互研鑽の輪を広げて下さいますよう、よろしくお願いいたします。

【開催要項】

- I. 会 期：2011年4月17日(日)
- II. 会 場：北里大学相模原キャンパス 〒252-0373 相模原市南区北里1-15-1
- III. テー マ：リハビリでMOTTOつながる心と手～人と生活をよくする作業療法～
- IV. 参 加 費：神奈川県作業療法士会会員 2,000円
- V. 学会概要（予定）：特別講演、教育講演、一般演題発表、ワークショップなど

【演題募集要領】

演題応募はインターネットによる電子メールに限ります。

I. 応募資格

1. 正会員には演題応募資格があります。ただし、演題募集の締め切り時点において、2010年度の神奈川県作業療法士会会費未納者は応募資格がありません。応募前に必ず会費を納入して下さい。
2. 神奈川県内に勤務又は居住する作業療法士で本会に入会していない者は、応募することができません。共同演者になることもできません。
3. 神奈川県以外の都道府県に勤務又は居住する作業療法士、他職種の方は共同演者になることができます。

II. 応募受付期間

2010年8月2日(月)正午から2010年10月29日(金)正午まで。

III. 募集内容

一般演題（口述発表またはポスター発表）

応募の際に希望された発表形式が叶わないこともあります。最終的な発表形式は学会側に一任して下さい。

※応募原稿書式、応募宛先メールアドレス、募集要領の詳細については第13回神奈川県作業療法学会ウェブサイト (<http://www.geocities.jp/kanagawakenot/>) をご覧ください。

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニューズ** <144号>2010年7月発行（年6回発行）

発行責任者 渡邊慎一

編集責任者 野本義則

編集担当 松本政悦・大宮幸恵・菊地美帆・千葉友浩・馬場順子・杉本美穂・矢野竜也・堤由貴子

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45第一国際ビル301号 TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金 10：00～16：00 メールアドレス：jimu@kana-ot.com

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.com/>

作業療法 神奈川県

検索